

**ABSワークショップ
ナイロビ・ケニア
2019年8月25日**

石田 孝英

国立環境研究所

国立遺伝学研究所 ABS学術対策チーム

ishida.takahide@nies.go.jp

ABSワークショップの目的

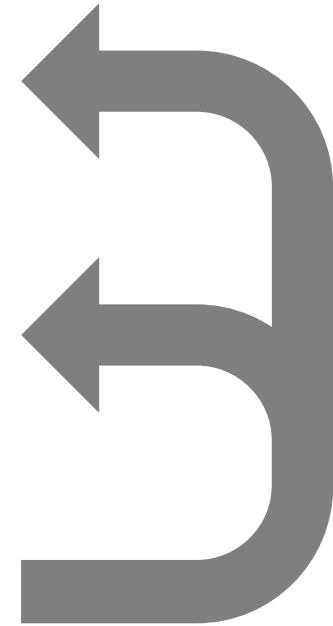
ABSをCBDに親和させる アイデア収集

ABS : CBDの3番目の目的

生物多様性の保全

持続的な利用

利用の利益配分



ABSの課題 1：CBDの中のABS

生物多様性の
保全

持続的な
利用

利用の
利益配分

- 3つの目標が対等に扱われていない
- 利益配分が多様性の保全に資するか不明

ほかのことに使っているのでは？ / そもそも利益が配分されていない。

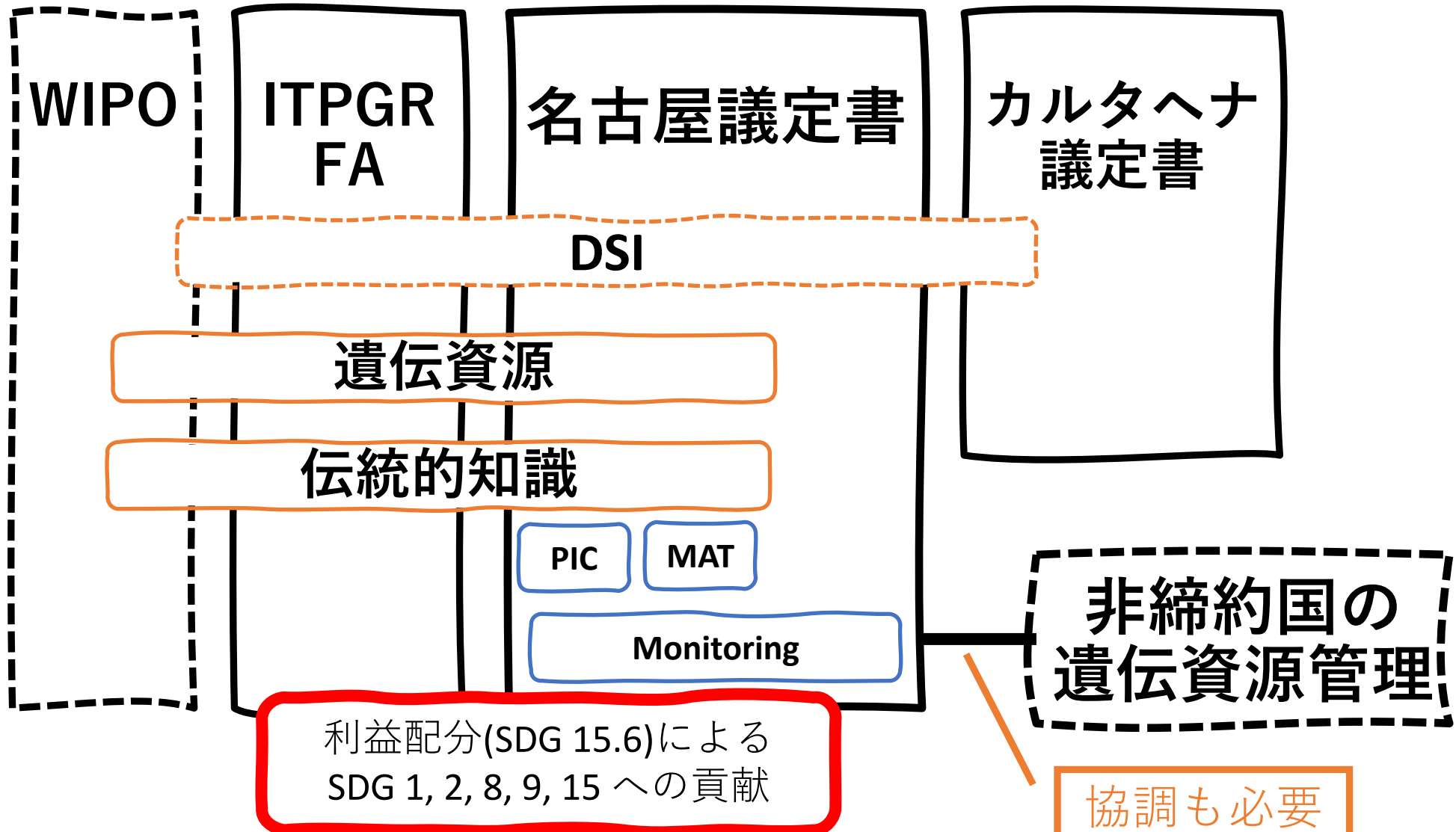
ABSの課題 2：

ほかの条約との兼ね合い・利益配分方法

条約	対象	利益配分	DSI
名古屋議定書	主権的権利下の遺伝資源と伝統的知識	二国間で決める 多国間オプションあり	検討中
ITPGRFA 食料・農業植物 遺伝資源条約	特定の作物	多国間	
UNCLOS 海洋法条約	公海の遺伝資源	検討中	

- 利益配分とDSIを中心に、ほかの条約とどう整合性を取るかが今後の課題

ABSの課題 3：その他の関連



ワークショップの様子

やり方はWSにより異なる。

- 120名程度。
- 国名を伏せた個人名で参加。

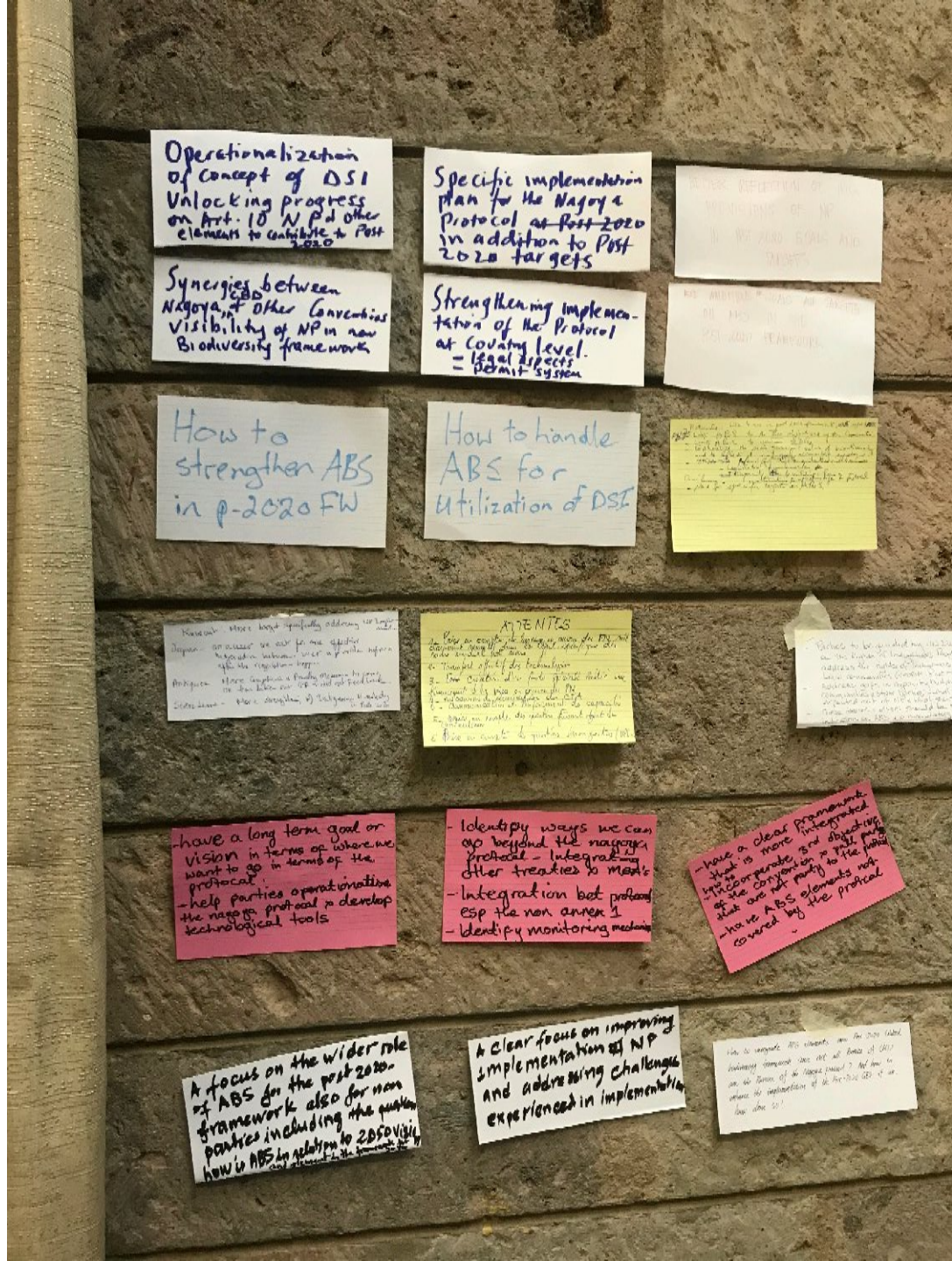


- 6~10グループに分かれて3回ディスカッション
- 都度リーダーが全体に口頭報告



自由討論だが、交渉官の多いグループは
文言を揉んだりしたようだ。

議論の内容をメモにして張り出す。



大きな紙に書き出す。

IMPACT OF AICHI TARGET 16

- national flexibility on inclusion of PICs
- target 16 helpful - for ratification and development of legislation
- element - collection. under ABS has to be respectful of biodiversity
- Voluntary mentorship by advanced countries for those not advanced - enabling conditions / implementation
- Regional mechanism role? ^{measures} ^{mentorship / important} ^{capacity building}
- Capacity building for implementation - all kinds

- 2回は元々の席の近い人同士
- 3回目は興味のあるテーマに集まる。



議論1：WSに期待される成果

議論 2

以下の全3テーマについて各グループで議論（各テーマ15分ずつ）

A. 愛知目標16のインパクト

- >愛知目標16は名古屋議定書の批准と実施を助けたか？
- >ポスト2020枠組みはどのようにABSの実施を助けられるか？

B. 2050年に我々が望む自然の状態のビジョン

- >ABSと議定書はどのように”自然と調和した生活“に貢献するか？
- >2050ビジョンの実現にABSはどう変化するべきか？

C. 技術的变化に着目したABS及び名古屋議定書

- >どんな技術的变化が、ABSや名古屋議定書の実施に関係するか？
- >取り組むこと・機会

議論 2

A. 愛知目標16のインパクト

>愛知目標16は名古屋議定書の批准と実施を助けたか？

>ポスト2020枠組みはどのようにABSの実施を助けられるか？

- 批准はした。
- 法令整備はあまり進んでいない。
- 目標自体が野心的でなかった。
- 地域ごとのまとまりを作ってはどうか。
- NBSAPに書き込む。
- 人権重視
- 整備が進んだ国から進んでいない国へのvoluntary mentorship
- IPLCの関与

議論 2

- **2050年に我々が望む自然の状態のビジョン**

> ABSと議定書はどのように”自然と共生する世界“に貢献するか？

> 2050ビジョンの実現にABSはどう変化するべきか？

- FPIC（自由意志に基づく事前の同意）
- Compliance committeeをCBDに
- 利益配分へのフォーカス
- *ex situ* collectionの活用

議論 2

- **技術的变化に着目したABS及び名古屋議定書**

- >どんな技術的变化が，ABSや名古屋議定書の実施に関係するか？

- >取り組むこと・機会

- DSI
 - 透明性
 - BBNJ
 - データの統括・仕組み
 - (IPLCもDSIに大きな興味。ポスト2020枠組ではDSIを入れたい)

議論3：6トピックに分かれて議論

1. ゴール・マイルストーン・指標
2. 条約の他の作業にどう統合するか
3. 要素の実行とレビューメカニズム
4. IPLC
5. DSI
6. 他の国際的な枠組みとの調整

当初は20分ごとに3箇所回るようにとのことだったが、多くのステーション（グループ）がメンバーの入れ替えなしに議論した。

おわり